

## トムス レクサスLS フロントディフューザー

このたびは、トムス フロントディフューザー(以下フロントディフューザー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、  
「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等  
をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。  
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

**適応車種** 本製品は以下の車種に対応しています。(2018年6月 現在)

適応車種
レクサスLS (VXF5#) 平成29年10月～
レクサスLS (GVF5#) 平成29年10月～

**取り付け上のご注意** 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

1. フロントディフューザー取り付け作業は、必ず作業員2人で行ってください。
2. フロントディフューザー脱落防止のため、取り付けボルト等はしっかり締めてください。  
走行前にゆりみがないかチェックしてください。  
フロントディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジトラック等で車両を固定してください。
4. ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
5. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
6. フロントディフューザー装着により、標準バンパーより全長約31mm長くなり、地上高約27mm低くなります。
7. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。

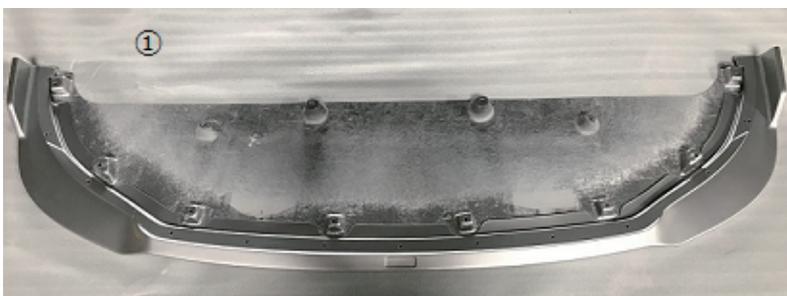


**構成部品** 本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

①フロントディフューザー ×1

②トムスエンブレム ×1

③タッピングスクリュー (M5×16) ×11

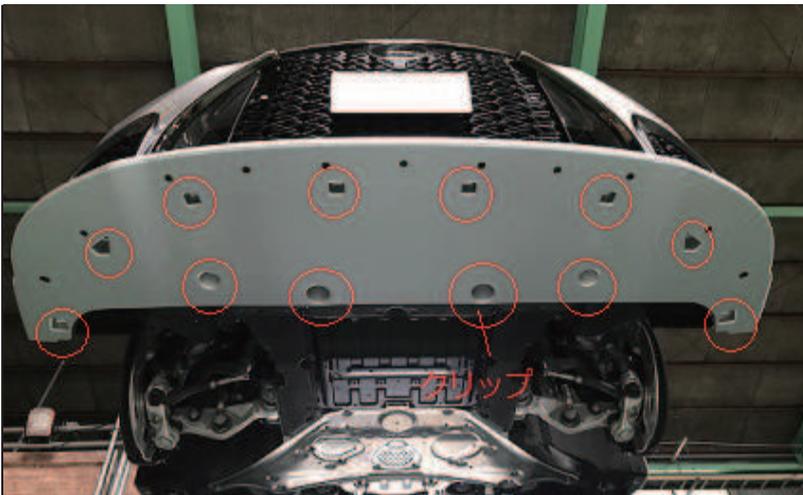


## 取付手順



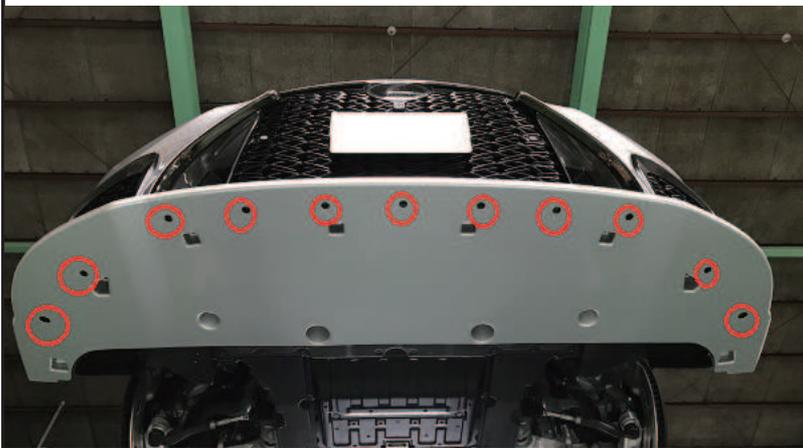
- (1.) 純正のタッピングスクリュー（11本）クリップ（1個）を取外す。

※取外したタッピングスクリューとクリップは再使用するため、大切に保管して下さい。



- (2.) ①フロントディフューザーを車両に仮合わせをする。  
(1.) で取外した純正のタッピングスクリュー（11本）を使用して仮締めをする。

※この時クリップは完全に固定しない。



- (3.) ①フロントディフューザーとバンパーの隙間や取付け位置にズレがないことを確認した後○印のヵ所にマーカー等で印をマーキングをする。
- (4.) ①フロントディフューザーを取外し、マーキング位置にドリルで3mm穴をあける。（11ヵ所）

※バンパーを貫通させない様ご注意ください。

- (5.) 純正のタッピングスクリュー（11本）クリップ（1ヵ所）と付属の③タッピングスクリュー（11本）を使用して、①フロントディフューザーを固定し取付ける。



## 取付手順



- (6.) ②トムスエンブレム貼り付け箇所を脱脂処理をして、②トムスエンブレムを貼りつける。



||

【発売元】株式会社 トムス  
東京都世田谷区等々力6-13-10  
TEL 03-3704-6191

# フロントディフューザー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

**塗装後のクレームには応じません。**

## 構成部品

- ①フロントディフューザー x 1
- ②トムスエンブレム x 1
- ③タッピングスクリュー x 11 (M5x16)

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

## I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

### 注意！

本製品はFRP製品のため適切な塗料を使用する。

### 注意！

40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。